



行動観察のポイント

幼稚園受験・小学校受験の集団行動に見る課題

幼稚園受験と小学校受験に大きなウエイトを占める行動観察は、ペーパーをやれば身につくことではありません。家庭でいつも子供がどのように過ごしているかが大きく影響します。

そして、大事な観点は「協調性」です。すなわち「他人の気持ちが理解できる子」、「場の空気を読める子」になる事です。

自分の我儘ばかりを通しては集団行動では「協調性」はなしと見られます。譲ることができ、どうしたら楽しく遊ぶ事ができるかは、そのような暮らしをしていないと学べません。親がもちろん楽しく遊ぶ事や、他人に対しての接し方をお手本としてみなくてはなりません。ペーパーテストで得点を高く上げて、他の行動観察では余り伸びが見られないとなると、難関校はもちろん、私立小学校は望めません。

例えばこんなテストがあります。

- ・ **集団制作のとき材料がたくさんあっても、ハサミが1つという場合**、この時に誰がはさみを使うかは黙っていたのでは、制作が進みません。使いたい人がたくさんいる時は、どのような順番で使うか、という事を提案しなくてはなりません。黙って早い者勝ちにしてしまい、喧嘩をしてしまうのはよくありません。その場のみんなの気持ちを察して、「みんな使いたい？では、1つ切ったら次の人に回そうか？」などと話せたらどうでしょう。みんなが賛成して、「はいどうぞ」「お先に」などと話せるかもしれません。その時に、誰とも話さないし、制作にも加われない子供はいうまでもなく、不合格です。
- ・ **提示された遊具で、決まりごとがありそのお約束を守り遊ぶ場合**、決まりごとだけは守れるけど、楽しそうに遊びに入っていない子供もいます。表情が生き生きしていない子供は一目で分かります。ましてや、お行儀の悪さやおもちゃの取り合いは、減点あるいは失格です。一緒の場所において、喧嘩もせずそれぞれおもちゃで遊んでいてもお友達と関われないと評価は低い事になります。声をかけても、そこから楽しい遊びの展開がないと話すこともなく意欲もなくなります。
- ・ **勝ち負けを競い合うゲームする場合**です。自分のチームを応援する事はもちろんですが、応援の仕方が問題です。相手をけなすような声のかけ方は、よくありません。「もっと早くしてよ」「あなたが遅いから」などと言うのは意欲があり、勝つために頑張ったとしてもその一言で吹き飛ばされてしまいます。

このような例は、数多くありよく見られることですが、子供をよく見る学校では一目瞭然に良い子とそうでない子を見分けてしまいます。

入試の直前になってでは躰ける事はできません。関わりあいは実際の場面ですか学べません。ペーパーもしなくてはならないし、運動もしかり、人との関わりも一番大切なところですよ。お母様お父様は受験をするとなった以上は、これほど今までに忙しく毎日を過ごす時期はないとを感じるでしょう。

四季を意識させ、休日は戸外で四季折々の遊びをさせて、家庭内の躰も確認しお友達としっかり関われる様にこの1年心がけなくてはなりません。

あくまでも、幼稚園受験・小学校受験はペーパー（知育）だけではないということ肝に銘じて下さい。

親も子も成長できるのが幼稚園受験・小学校受験ですよ。

まとめ

他人を思いやる気持ちはお母様・お父様が示して教えましょう

場の空気を読む子供にしましょう(会話や提案が必要な時に、適切な対応)

遊ぶ時のお行儀は大丈夫か確認しましょう(寝転びや足が開くのはいけません)

「みんなで一緒に遊ぼうコース」企画中国（行動観察対策コース）

素朴なおもちゃでみんなと楽しく遊ぼう

少ない道具で譲り合いながら、制作をしよう

親子で関わりながら遊んでみよう

大勢で伝承遊び

グループでゲームをしよう

受験体操コースと異なる点は重点が人と関わること（楽しく遊ぶ事）です。ご家庭でも幼稚園でも教えてくれない、人との関わりを実体験で学びましょう。集団でいる時に輝ける子供を小学校は求めています。